

会社説明会 質疑応答の要約

2025 年 12 月 12 日（金）に開催した「会社説明会」にて、
株主の皆様からいただいたご質問をまとめております。

Q1

「グラブルフェス」のチケット先行予約で、両日分のチケットを入手できず、
どちらか一日分しか当選しない仕組みになっている理由を教えてください。

A1 回答者：取締役 日高

ご意見として受け取らせて頂き、サービス側にも伝えておきます。

Q2

「ABEMA」のコンテンツについて、政治的立場が事前に分かるように表示してはどうか？

A2 回答者：代表取締役 藤田

「ABEMA ニュース」は（株）テレビ朝日と共同出資している（株）AbemaNews において企画制作を行っており、報道番組内容に対して、私のような民間企業の社長が強い意向を働かせるのは危険なことだと思っている。
地上波の報道倫理感の中で扱ってもらっているようにしている。

Q3

サイバーエージェントが、2018 年に「FC 町田ゼルビア」を取得してから、同チームが急に強くなったように感じるが
最も力を入れてきたところはどこか？

A3 回答者：代表取締役 藤田

黒田監督を招聘し、強いリーダーシップを発揮してくれたことが最大の理由だと思っている。

Q4

「21 世紀を代表する会社」は時価総額ではかれると考えているが、他の企業に比べて物足りない。
また、そのビジョンは、従業員にどのくらい浸透しているか。
この分野だけは絶対に負けない、という確固たるものがあればそれも教えてください。

A4 回答者：代表取締役 藤田

ビジョン自体は、当社内においてすっかり浸透していると思っている。

上場時、時価総額 10 兆円を目指すと言っていたが、株価が下がって叩かれた。

バブルで株価が上がったとしても、バブルがはじければ下がってしまうため、自力に合わせて株価を上げるしかない。
実態が伴わず、株価が上がっても結果下がるだけと考え、自力を上げ堅実に伸ばしていきたい。

インターネット産業において多くの企業があったが、今は絞られてきており
このインターネットの各分野においてトップを目指している。

Q5

「ウマ娘 プリティーダービー」の5周年に向けて、新ウマ娘を期待して良いか？

A5 回答者：代表取締役 藤田

新ウマ娘に関しては、公表されていること以外、お話できることはない。

Q6

20年前から（株）ニトロプラスのファンであるが、今後古いIPの活用などを予定しているか？

A6 回答者：代表取締役 藤田

ニトロプラスのグループ入りで期待しているのは、「刀剣乱舞」を更に発展させることと
新しいIPを作ることと考えていましたが、確かに古い作品の掘り起こしについても可能性を感じる。
今回のご意見を受けて検討してみます。

Q7

サイバーエージェントのハラスメント等のスキャンダルをあまり見ないが、ガバナンスを守りながら
業績を伸ばしているバランスの秘訣は？

A7 回答者：代表取締役 藤田

「自由と自己責任」が会社の考え方のベースになっており、高いモラルが保たれている。
月に一度、全社員に簡単なアンケートをとる仕組み「GEPPPO」という仕組みがあり、
経営陣への早いアラートが可能になっており、早期に対処できているのも奏功していると思っている。

Q8

（株）ネルケプランニングが行っている2.5次元ミュージカル専用の劇場を作る予定はあるか？

A8 回答者：代表取締役 藤田

劇場取得は（株）ネルケプランニングがグループ入りした時から事業計画にも重要な戦略として盛り込まれており、
12月1日から自社劇場である「天王洲 銀河劇場」の運営もスタートしている。

Q9

AI開発について、今後も自前の開発にこだわり続けるのか？
もしくはグローバルなAI企業との提携など予定しているか？

A9 回答者：常務執行役員 内藤

現在も「OpenAI」「Gemini」などのグローバル企業の AI プロダクトを、活用しており LLM は、それらの競合としてではなく、個人情報やセキュリティ面で比較的にコンパクトに可能性があるところを狙いながら開発している。

AI に関しては全方位で活用していく方針。

Q10

（株）コナミデジタルエンタテインメントとの特許権侵害訴訟における和解成立について、今後のゲーム事業への影響等も含め会社としての感想はあるか？

A10 回答者：取締役 日高

一貫して特許侵害はないと主張してきた中で、ユーザーが安心してプレイできる環境を優先した結果、和解という形になって良かったと思っている。

今後もゲームに関わる法律や著作権について、法務と連携しながら開発を進めていく。

Q11

山内新社長の人となりを知りたい。中長期で応援したいファンのためにひとこと頂きたい。

A11 回答者：代表取締役 山内

藤田と同じくヒップホップが好きで筋トレも趣味。

幼少期にアニメやゲームに救われた経験があり、コンテンツ製作も社会的意義や気概をもって取り組んでいきたい。

今後は創業者である藤田からのサクセッションに向けて全精力を集中させ、株主のみなさまのご期待に応えられるよう精一杯やっていきたい。

Q12

藤田会長の 2025 年 9 月末時点における 16.6% の保有株について、経営を離れる際の考え方を教えてほしい。

A12 回答者：代表取締役 藤田

現状売るつもりはない。

以上